

Fukuoka City Hospital

FCH

Vol. **52**

2025  
New Year

◎新年ご挨拶

◎各診療科のご紹介（麻醉科、リハビリテーション科）

◎東部オープンカンファレンス・症例検討会活動報告

◎予約方法について



地域医療支援病院  
地方独立行政法人福岡市立病院機構

**福岡市民病院**

福岡市博多区吉塚本町 13-1  
TEL 092-632-1111 FAX 092-632-0900  
<https://shiminhp.fcho.jp/>



新年明けましておめでとうございます。院長の堀内でございます。

令和7年（2025年）が皆様にとりまして輝かしい1年になりますことをお祈り申し上げます。地域の医療機関の皆様方には、平素より福岡市民病院と緊密に連携していただき、患者さんの円滑なご紹介や受け入れにご尽力いただいております。改めて心よりお礼を申し上げます。今後も地域医療のお役に立てるように努めてまいります。本年もどうかよろしくお祈り申し上げます。

福岡市民病院は「ここをつくした質の高い医療を通じてすべての人の尊厳を守ります」という理念のもと日々診療を行っております。高いレベルの医療を届ける使命はもちろんですが、同時に公的病院の勤めとして、感染症、救急、災害に即応できる体制を常に整えておく重要性を職員一同肝に銘じております。

昨年1月の「令和6年能登半島地震」では能登半島を中心に甚大な被害が生じました。改めて被災地の皆様方にはお見舞いを申し上げます。当院は1月にJMATチームを当該地域で最大の震度7を記録した能登半島中部の志賀町に派遣しました。当院は、過去にも新潟県中越沖地震（平成19年）、東日本大震災（平成23年）、熊本地震（平成28年）、西日本豪雨（平成30年）等の大きな自然災害時には必ずJMATを派遣して被災地での医療活動を行ってまいりました。

また、令和2年1月に日本に到来した新型コロナウイルス感染症では、もっとも初期の段階から多くの患者さんを受け入れ、人工呼吸はもちろん透析、ECMOも駆使して重症患者さんにいたるまで治療を行いました。多職種による病院一丸となつての感染症医療、災害医療の経験は福岡市民病院の大きな強みであります。福岡市、福岡県に災害が生じたときには真っ先に最前線で活動いたします。そして万一未知の感染症であっても、ひるまず対応する「凄みのある」病院でありつづけたい。

皆さまには平成17年のマグニチュード7.0の福岡県西方沖地震がご記憶に新しいと思います。警固断層帯の北西部分の玄界灘を震源とする地震でした。大きな揺れと被害があったことを記憶しています。一方、警固断層帯の残りの半分にあたる南東部は、この時は動いておらず、今後地震の発生源になる可能性があります。警固断層帯が今後30年以内に地震を発生する可能性は0.3～6%で国内最高リスクの「Sランク」です。専門家は「警固断層の地震はいつ発生しても不思議ではない」と警鐘を鳴らしています。



# 謹賀新年

警固断層帯南東部は志賀島南方沖の博多湾から中央区、南区、春日市、大野城市、筑紫野市にかけて直線状に走っています。地震が発生した際の規模はマグニチュード7.2と想定されています。福岡市中心部を縦断する形になりますので被害が心配されます。私たちはしっかり地震に備えておく必要があります。

昨年12月20日に福岡市民病院と国家公務員共済組合連合会千早病院と再編等に向けた具体的な協議を開始することが発表されました。お互いが公的病院として今まで培ってきたノウハウを結集し相乗効果生まれるよう協力していきたいと思えます。病院の規模が大きくなり、新病院が建設されることで、地域の皆様方にさらに充実した医療を提供できる体制が整うと確信しています。今年1月17日で、阪神淡路大震災の発生から30年目を迎えました。災害医療の大きな転換点となったあの災害を改めて思い起こし、新病院建設に向かう私たちの教訓としたいと思います。

今年の干支はヘビですね。ヘビは脱皮をすることから「新しい自分に生まれ変わる」「再生と復活」の意味があると言われます。今年を福岡市民病院「復活と再生」の1年目と位置づけ、新病院建設に向けて変化を恐れず「新しい自分に生まれ変わる」べく、一步一步課題を解決していく所存です。私たちに課せられた5つの使命、感染症医療、救急医療、災害医療、高度医療、地域医療への貢献、を改めて胸に刻んで前に進んでまいります。

本年もご指導、ご支援を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 堀内 孝彦



麻酔科は、常勤医1名、非常勤医師1名と九州大学病院からの応援医師で日々の業務を行っています。手術室での麻酔管理はもちろん、血管造影室や心臓カテーテル室での全身麻酔管理なども行っております。

手術室は5室あり、うち1室は人工関節置換術などを行えるバイオクリーンルームです。手術部看護師、臨床工学技師らと協力しながら、年間約1000件の麻酔管理を行っています。

当院では内科系各診療科がそろっていることもあり、様々な合併症を持つ患者さんが手術室に来られます。各科と綿密な連携をとった上で患者さんの全身状態の評価を行い、合併疾患の重症度を把握して、麻酔関連偶発症の発生を予防するよう努めています。特に高齢の患者さんにおいては他の全身疾患も隠れている場合がありますので、必要に応じて関係各科にて精査を行っています。

麻酔管理では第一に安全な麻酔管理を心がけ、全身麻酔だけでなく硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、末梢神経ブロックを患者状態に応じて使い分けています。特に抗血小板薬や抗凝固薬を内服されている方は末梢神経ブロックの適応となる方が多く、内服を中断できない際や緊急手術の際の鎮痛に威力を発揮します。手技は超音波ガイド下に行っており、合併症を最小限とするよう努めています。また、術後鎮痛には症例に応じPCA（患者自己鎮痛法）を計画しています。

術前には麻酔科医と手術室看護師で事前に十分な説明を行っているほか、令和6年度からタブレット等を用いた麻酔に関する説明映像の視聴を導入しており、麻酔について事前に理解していただくことで患者さんの不安を軽減できるよう努めています。

当科では24時間365日オンコール体制をとっており、緊急手術が必要な際は速やかに手術が始められるよう対応しています。また大腿骨頸部骨折など外傷患者さんの搬送も多く、高齢の患者さんの割合が多いことから、厳密な管理を行い、できる限り早期に手術できるよう調整しています。

今後も患者さん、先生方のお役に立てますよう努めてまいります。何卒よろしくお願いたします。



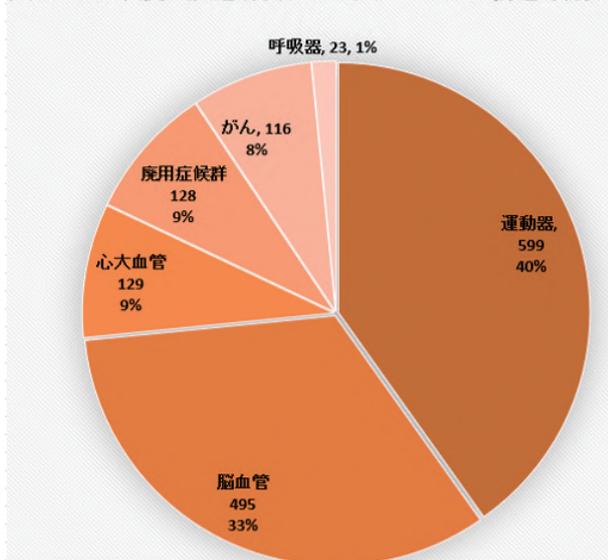
平成29年3月1日よりリハビリテーション科を開設し、現在、運動器リハビリテーション（施設基準Ⅰ）、脳血管疾患等リハビリテーション（同Ⅰ）、心大血管疾患リハビリテーション（同Ⅰ）、廃用症候群リハビリテーション（同Ⅰ）、がん患者リハビリテーションに加え、令和5年7月より呼吸器リハビリテーション（同Ⅰ）を実施しています。

現在のスタッフは理学療法士7名、作業療法士4名、言語聴覚士2名、技術補助員2名の計14名です。図1に令和5年度の疾患別リハビリテーション実施実績を示します。このほかに栄養障害や呼吸障害などの病態に対しては、入院診療科の垣根を越えて、専門医師、認定看護師、管理栄養士らのチームにリハビリテーションスタッフが加わり、毎週の回診の中で患者個々に対する総合的な評価とそれに応じた対策の実施を行っています。

急性期病院としての性格上、当院でのリハビリテーションは手術後あるいは治療開始後早期の比較的短い期間に限られます。継続的な入院リハビリテーションが必要な患者には、病病・病診連携のもと、これまで同様に他の医療機関へお願いしなければなりません。脳卒中と大腿骨頸部骨折に関しては、すでに福岡市医師会が策定した地域医療連携パスの運用を行っていますが、今後さらに他の疾患についても拡充されることが予想されます。また、厚生労働省が推進する在宅医療の強化へ向けて、地域医療支援病院としてリハビリテーションの立場からも患者ADLに関するかかりつけ医や介護スタッフとの関わりがますます重要性を増していくものと考えられます。

患者の着実な社会復帰や超高齢社会における健康寿命の延伸を推進していく上で、リハビリテーションは重要な歯車のひとつであり、今後さらなる業務の充実を図っていきたいと思います。

図1 R5年度 疾患別リハビリテーション新患者数



令和5年度 新患者数の内訳

<b>運動器 599例</b>	
脊椎疾患	287
外傷・骨折	250
変形性関節症	35
その他	27
<b>脳血管 495例</b>	
脳梗塞	223
脳出血	93
くも膜下出血	21
外傷	56
神経疾患	40
その他	62
<b>がん 116例</b>	
周術期	101
化学療法	2
緩和ケア	13
<b>廃用症候群 128例</b>	
COVID-19肺炎	31
肺炎	51
外科術後	17
その他	29
<b>心大血管 129例</b>	
狭心症	10
慢性心疾患	79
急性心筋梗塞	39
その他	0
<b>呼吸器 23例</b>	
肺炎・無気肺	14
COPD・気管支喘息など	2
その他	7

# 第59回 福岡東部オープンカンファレンス

【開催】2024年12月9日（月）

【テーマ】Intensive Care のアレコレ  
～当院のICU、新任救急科医師の紹介を含め～

【演題】

1. ICUにおけるチーム医療の取り組み  
看護部 梅林 康司
2. アセトアミノフェン中毒におけるICU管理について  
救急科医師 砂川 卓哉
3. 酸素は善？悪？

救急科科長 小野 雄一



ご視聴はこちらから↓



## 消化管症例検討会

【開催】2024年12月17日（火）

【演題】

1. 術前に進展範囲の診断が困難であった胃癌pT4(SE)の1例  
消化管内科医師 名取 宥哉
2. 早期診断が困難であった外傷性小腸穿孔の一例  
消化管外科 山本 学

ご視聴はこちらから↓



## 外来受診の場合

診療受付時間 ①月～金曜日【8:30～11:00】

来院時間	
8:30～11:00	初診は予約制ではないため、紹介状をお渡しのうえ、当院へご案内ください。 事前にFAXにてご紹介いただく場合は、ホームページに掲載している「診察申込書」をプリントアウトしてご利用いただけます。
11:00～17:00	急患・ご紹介の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。 ☎ (TEL:092-632-3430) ☎ (FAX:092-632-3431)
17:00～翌日 8:30	当院・時間外窓口(代表)へご連絡ください。 ☎ (TEL:092-632-1111)

※検査の予約につきましては、FAXでもお受けいたします。

詳しくは、ホームページをご参照ください。(検査申込書を掲載しております。)

## 検査の予約方法

予約受付時間 ①月～金曜日【8:30～17:00】 直接ご連絡もしくは FAX をお願いします。

項目	連絡先・結果報告	注意事項
CT・MRI	病院代表:092-632-1111 ☎ 放射線受付(内線 1105) ☎ 地域医療連携室 (FAX:092-632-3431)	※予約時間の 30 分前にお越しください。 ※確認をお願いします。 ・リブレ血糖測定器の有無(CT・MRI) ・ペースメーカー及び磁石のついた義歯の有無について(MRIのみ) ※造影 CT・造影 MRI ・検査日より3ヶ月以内の血清クレアチニン値添付 ・ビグアナイド系糖尿病薬を投与中の場合、前後 2 日間は休薬をお願いします。(造影 CTのみ) 造影 CT:検査前 3 時間の絶食 MRCP:検査前 4 時間の絶飲食
	放射線科専門医が読影後、レポートと CD-ROM を当日患者さんにお渡しするか、もしくは郵送します。	
上部消化管内視鏡	病院代表:092-632-1111 ☎ 内視鏡室(内線 1313) ☎ 地域医療連携室 (FAX:092-632-3431)	※予約時間の 15 分前にお越しください。 前日の午後 9 時以降は絶食。 当日朝の少量の飲水は可。 ※(鎮静希望の方)
	消化器専門医が読影後、レポートを当日患者さんにお渡しするか、もしくは郵送します。	検査当日から翌朝までは車両の運転はできませんので、公共交通機関等をご利用ください。

# 福岡市民病院 外来担当医一覽表

(受付時間: 平日 午前8時30分~午前11時)

◎: 新患 ●: 再来

診療科	専門分野	医師名	月	火	水	木	金
消化管外科	消化器外科, 一般外科	東 秀史 山本 学	○	○	○	○	○
	消化管一般, 病態栄養	高橋 俊介 池田 浩子	●	◎	○	●	○
消化管内科	消化管一般	近藤 悠樹	◎	○	●	○	◎
	消化管一般	名取 有哉	○	○	○	◎	○
	消化管一般	長田 美佳子	○	○	○	○	○
	消化管一般	後藤 綾子	○	○	○	○	○
肝臓外科	肝・胆・膵外科, 胆石外来	森田 和豊 小柳 年正	○	○	○	○	○
	肝・胆・膵	吉本 剛志 中村 史	○	○	○	○	○
肝臓内科	肝・胆・膵	原 真児登	○	○	○	○	○
	肝・胆・膵	江口 大彦 本間 健一	○	○	○	○	○
血管外科	血管外科, 腎不全外科	池田 裕史 吉田 祐子	○	○	○	○	○
	血管外科	坂井 義之 安部 健太郎	●	◎	●	◎	◎
腎臓内科	腎臓内科一般, 血液浄化	原田 由紀子	○	○	○	○	○
	腎臓内科一般, 血液浄化	谷 直樹 芳野 秀治	○	○	○	○	○
糖尿病内科	糖尿病	清澤 恵理子 村山 佑里子	○	○	○	○	○
	糖尿病	黒木 翔太 古坂 王友梨	○	○	○	○	○
感染症内科	感染症	安部 健太郎	◎	○	○	○	○
	感染症	安部 健太郎	◎	○	○	○	○
放射線科	画像診断一般, IVR	工コ一(超音波)	○	○	○	○	○
	画像診断一般	工コ一(超音波)	○	○	○	○	○
内科	画像診断一般	安部 健太郎	○	○	○	○	○
	画像診断一般	安部 健太郎	○	○	○	○	○

診療科	専門分野	医師名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	呼吸器内科一般	小野 伸之 柴原 大典	○	○	○	○	○
	循環器一般, 虚血性心臓病, 心不全	弘永 潔 大坪 秀樹	●	◎	◎	◎	◎
循環器内科	循環器一般	龍 憲史 松浦 紀	○	○	○	○	○
	循環器一般, 不整脈	馬場 功十 渡邊 高徳	○	○	○	○	○
	循環器一般	塩入 慧亮	●	◎	◎	◎	◎
	循環器一般	平川 勝之 吉野 健一郎	○	○	○	○	○
脳神経外科	脳血管障害, 神経外傷, 脊髄疾患, 脳腫瘍, てんかん	福島 浩 後藤 夏奈	○	○	○	○	○
	脳神経外科一般	長野 祐久 中道 英明	◎	◎	◎	◎	◎
脳神経内科	脳神経内科一般	柴田 憲一 向井 達也	○	○	○	○	○
	脳神経内科一般	齊藤 太一 大江 努	○	○	○	○	○
整形外科	整形外科	田中 哲也 中野 寛之	○	○	○	○	○
	整形外科, 外傷	青野 誠 江口 大介	○	○	○	○	○
眼科	眼科一般	古場 裕人 前田 真奈美	○	○	○	○	○
	眼科一般	小野 雄一 砂川 卓哉	○	○	○	○	○
救急科	救急医学, 集中治療医学	救急医学, 集中治療医学	○	○	○	○	○
	救急医学	救急医学	○	○	○	○	○

## 編集・発行

地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

〒812-0046 福岡市博多区古塚本町13番1号  
TEL 092-632-1111 FAX 092-632-0900  
https://shiminhp.fcho.jp/

■受付時間: 平日8:30~11:00  
■休診日: 土日祝日・年末年始(12/29~1/3)  
■急患は救急外来で24時間対応します。



地域医療連携室直通 (平日 8:30~17:00)  
TEL: 092-632-3430 FAX: 092-632-3431